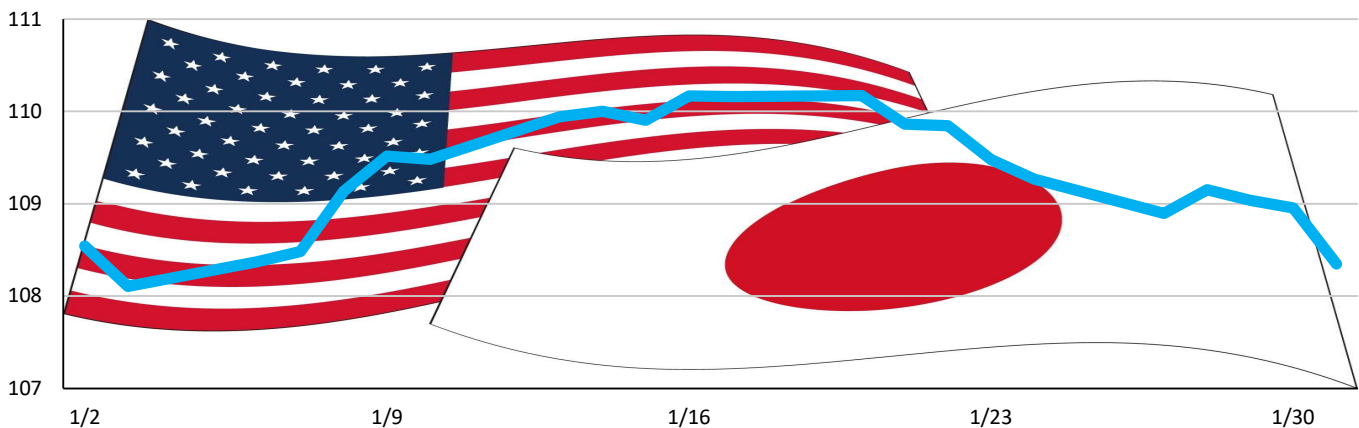


MARKET REVIEW

先月の振り返り：1月のドル円相場は107円後半～111円前半で推移。年末から米国とイランの軍事緊張が拡大してきたが、年明け早々にイラン革命軍司令官殺害事件が発生したことで、中東リスクが嫌気されドル売りが進行。ただ、イランの報復措置が形だけとの報道もありドルは買い戻された。月中に米中第1段階合意署名を控えてドル買いが進み110円台を回復したものの、第2段階以降は交渉が難航するとみられることからドル買いは頭打ち。その後、新型コロナウイルスの感染報道から徐々に感染拡大の深刻さが伝わるとパンデミックの不安、発生源である中国国内の景気や中国から旅行者を受け入れる各国の景気に影響を与えることなどからリスク回避の動きとなった。

(円) 米ドル円為替レート(終値ベース)



EXTRA VISION

今後の展開：新型コロナウイルスの影響は懸念されたが、米国経済への影響は限定的との発言も聞かれ、その後の良好な経済指標と相まって、110円台を回復する動きを見せている。とはいえ新型コロナウイルスに関しては不透明なところもあり、今後の展開によってはリスク要因となるため、引き続き注意が必要だ。また米中貿易問題もくすぶったままということなどを考えると、ドル安材料の方が多く見受けられることから、目先の動きに惑わされないように対処していきたい。

今月の主な経済指標 ※ 日本時間

日付	時間	国	指標名	重要度
2 / 27 (木)	22 : 30	US	米GDP改定値	☆☆☆☆
2 / 28 (金)	22 : 30	US	個人消費支出	☆☆☆☆
3 / 6 (金)	22 : 30	US	米雇用統計	☆☆☆☆☆
3 / 9 (月)	8 : 50	JP	日GDP改定値	☆☆☆☆
3 / 12 (木)	21 : 45	EU	欧州中央銀行 (ECB) 政策金利	☆☆☆☆
3 / 19 (木)	3 : 00	US	米連邦公開市場委員会 (FOMC)	☆☆☆☆☆
3 / 19 (木)	** : **	JP	日銀金融政策決定会合	☆☆☆☆